

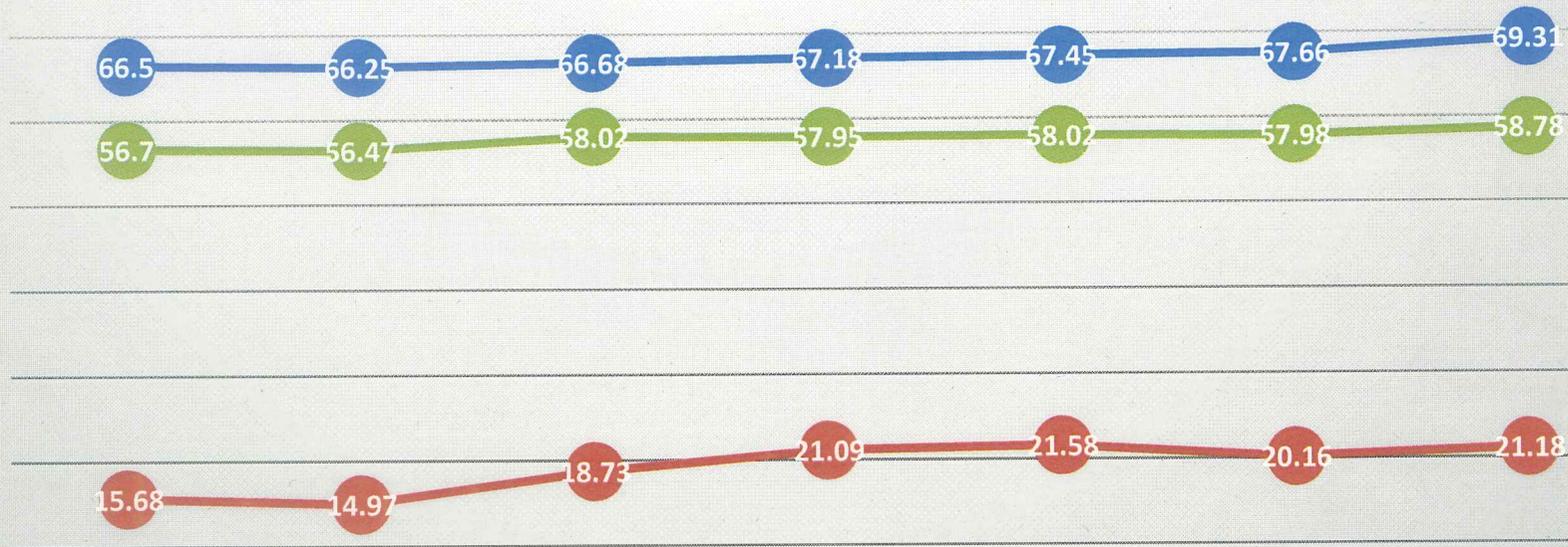
# 民生福祉常任委員会審査日程

日 時 平成29年2月24日(金)  
本会議終了後  
場 所 第2委員会室

## ～審査内容～

- 1 議案第3号 平成28年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)について(国保)
- 2 議案第5号 平成28年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)について(国保)
- 3 所管事務調査 新年度の保育所入所状況について(こども)
- 4 議案第8号 平成28年度山陽小野田市病院事業会計補正予算(第2回)について(病院)
- 5 議案第4号 平成28年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算(第3回)について(高齢)

## 過去7年間における1月末現在の収納率比較



	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
● 現年分	66.5	66.25	66.68	67.18	67.45	67.66	69.31
● 滞納分	15.68	14.97	18.73	21.09	21.58	20.16	21.18
● 計	56.7	56.47	58.02	57.95	58.02	57.98	58.78

● 現年分 ● 滞納分 ● 計

## 平成28年度第3回補正資料（国民健康保険特別会計）

## ●平成28年度医療費見込み

（単位：人・円・％）

	H 2 7 実績額	H 2 7 年度 被保険者数	H 2 7 年度 1人あたりの給付費	H 2 8 見込み額	H 2 8 年度 被保険者数見込み	H 2 8 年度1人あたり の給付費見込み額	一人あたり の伸び率
一般被保険者療養給付費負担金	4,370,260,906	13,702	318,951	4,368,723,000	13,291	328,698	3.1
退職被保険者療養給付費負担金	278,587,628	863	322,813	243,119,000	517	470,250	45.7
一般被保険者療養費負担金	32,040,222	13,702	2,338	31,007,000	13,291	2,333	▲ 0.2
退職被保険者療養費負担金	2,422,584	863	2,807	1,860,000	517	3,598	28.2
一般被保険者高額療養費負担金	601,343,139	13,702	43,887	627,494,000	13,291	47,212	7.6
退職被保険者高額療養費負担金	42,672,753	863	49,447	45,635,000	517	88,269	78.5
合計	5,327,327,232	14,565	365,762	5,317,838,000	13,808	385,127	5.3

## ●基金収支

（単位：円）

	年度	積立	取崩	残高	備考
平成27年度末	平成27年度			777,213,611	
当初予算	平成28年度	157,000		777,370,611	
当初予算	平成28年度		185,252,000	592,118,611	
12月補正	平成28年度	167,057,000		759,175,611	
3月補正	平成28年度	▲ 21,971,000		737,204,611	

# H29.2.24民生福祉常任委員会提出資料 国保年金課③

保険者番号 : 350090  
 保険者名 : 山陽小野田市  
 地区 :

## 医療費分析(2)大、中、細小分類

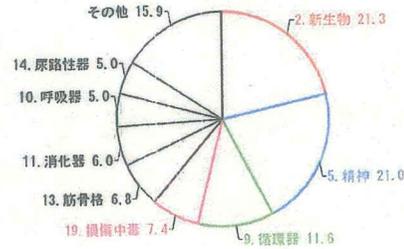
作成年月 : H28年度(累計)  
 印刷日 : H29年02月22日  
 ページ : 1/1

保健指導対象者の絞込みに際し、どの疾病をターゲットにするのかの医療費分析例

- ・最大医療費源傷病名を用いて計算
- ・大分類別医療費のうち上位4位までを対象に中分類分析を行う
- ・疾病分類上位3位までを表示する

KDBシステムによる

大分類別医療費 (%)



入院医療費全体を100%として計算

中分類別分析 (%)

大分類	中分類	割合 (%)	細小分類	割合 (%)
2. 新生物 21.3	その他の悪性新生物	6.6	食道がん	0.9
	気管、気管支及び肺の悪性新生物	3.3	前立腺がん	0.8
	結腸の悪性新生物	2.9	卵巣腫瘍(悪性)	0.6
5. 精神 21.0	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	14.1	肺がん	3.3
	その他の精神及び行動の障害	2.7	大腸がん	2.9
	気分(感情)障害(躁うつ病を含む)	2.5	統合失調症	14.1
9. 循環器 11.6	虚血性心疾患	2.5	うつ病	2.5
	脳梗塞	2.4	狭心症	1.8
	その他の心疾患	2.4	心筋梗塞	0.5
			脳梗塞	2.4
19. 損傷中毒 7.4	骨折	4.1	不整脈	1.0
	その他損傷及びその他外因の影響	2.2	骨折	4.1
	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	1.0		

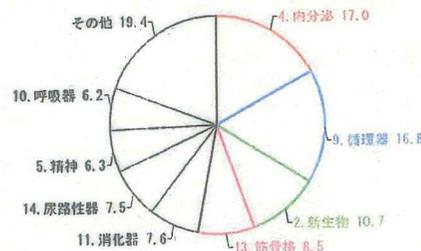
入院+外来 (%)

順位	疾病名	割合 (%)
1位	統合失調症	7.2
2位	糖尿病	6.1
3位	高血圧症	5.6
4位	慢性腎不全(透析あり)	3.7
5位	関節疾患	3.5
6位	脂質異常症	3.3
7位	うつ病	2.9
8位	大腸がん	2.5
9位	肺がん	2.0
10位	骨折	1.9

全体の医療費(入院+外来)を100%として計算

入院

外来



外来医療費全体を100%として計算

大分類	中分類	割合 (%)	細小分類	割合 (%)
4. 内分泌 17.0	糖尿病	10.0	糖尿病	10.0
	その他の内分泌、栄養及び代謝障害	6.5	脂質異常症	5.6
	甲状腺障害	0.5	甲状腺機能低下症	0.2
9. 循環器 16.8	高血圧性疾患	9.4	高血圧症	9.4
	その他の心疾患	4.2	不整脈	2.3
	虚血性心疾患	1.3	狭心症	1.0
2. 新生物 10.7	その他の悪性新生物	4.4	前立腺がん	2.1
	乳房の悪性新生物	1.6	膵臓がん	0.4
	結腸の悪性新生物	1.0	膵臓がん	0.3
13. 筋骨格 8.5	炎症性多発性関節障害	2.1	乳がん	1.6
	骨の密度及び構造の障害	1.5	大腸がん	1.0
	関節症	1.5	関節疾患	2.0
			痛風・高尿酸血症	0.1
			骨粗しょう症	1.5
			関節疾患	1.5

## 後期高齢者医療保険料軽減判定におけるシステム誤りの対応について

### 1. 概要

標準システムにおいて、保険料の均等割額の軽減判定に当たり、青色申告による純損失の繰越控除がある場合に、誤った数値を用いて計算されている箇所があるため、一部の被保険者について誤った軽減判定が行われている。

平成20年4月のシステムリリース当初から誤っていたが、平成23年に他県の広域連合から厚生労働省への問い合わせにより発覚。以来、問い合わせのあった広域連合に対して、正しい計算方法を回答する等で対応されてきたが、システムの改修を行わない限り正しい保険料賦課は困難であるとの判断となった。

そのため、これまでに誤って保険料を賦課された方の抽出と修正賦課の応急的な対応を行うとともに、標準システムの改修を行うこととなった。

### 2. 影響

影響を受け得るのは、次のいずれの条件も満たす被保険者

- ①世帯主、本人又は本人以外の被保険者である世帯員が、青色事業専従者給与を支払っている、または、年金収入(65歳以上の者の課税対象となる年金に限る)が120万円を超える青色申告者である。
- ②本人がいわゆる元被扶養者でない。
- ③所得を再計算した結果、均等割の軽減区分が変更となる。

影響人数は、全体の0.13%程度になると推定されている。山陽小野田市の被保険者に影響があるかは、現時点では不明。

山口県広域連合のスケジュールにより、4月上旬に判明する予定。

平成29年度 保育所入所申込(一次受付)等の状況(平成29年2月21日現在)

1. 一次受付期間 平成28年11月1日 ~ 11月30日

2. 新規入所申込者数 294 人  
 継続入所申込者数 1,252 人

3. 新規入所申込者の調整状況

(人)

内定	259
自己都合による待機	24
内定後辞退	4
市外希望(調整中)	7
合計	294

4. 新規入所申込者の年齢・地域別人数(児童の住所地別。転入予定を含む)

(人)

年齢	申込者数			自己都合による待機		
	小野田	山陽	合計	小野田	山陽	合計
0歳	58	29	87	4	0	4
1歳	63	24	87	7	2	9
2歳	33	22	55	6	1	7
3歳	32	13	45	3	0	3
4歳	10	2	12	1	0	1
5歳	4	4	8	0	0	0
合計	200	94	294	21	3	24

5. 現時点の保育所の空き状況

(人)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
小野田南部	私立保育園1	△	△	△	×	×	×
	私立保育園2	×	×	×	×	△	×
	私立保育園3	△	×	×	×	×	×
	私立保育園4	×	×	×	×	×	×
	私立保育園5	×	×	×	×	×	×
小野田北部	私立保育園6	×	×	×	×	×	×
	私立保育園7	×	×	×	×	×	×
	公立保育園1	×	×	×	×	×	×
山陽東部	小規模保育事業所1	×	△	×	/	/	/
	小規模保育事業所2		△		/	/	/
山陽西部	私立保育園8	×	×	×	×	×	×
	私立保育園9	×	×	×	△	×	×
	私立保育園10	×	×	×	×	×	×
	公立保育園2	△	△	△	△	△	△
	公立保育園3	△	△	△	○	○	○
山陽西部	私立保育園11	△	×	△	△	×	△
	私立保育園12	×	△	△	×	△	△
	公立保育園4	△	△	△	△	○	○
公立保育園5	△	△	△	△	△	△	

○・・・園との調整により5人程度入所の可能性あり  
 △・・・園との調整により若干名入所の可能性あり  
 ×・・・現時点では入所不可

山陽小野田市公立保育所再編に係る説明会の概要

平成29年1月12日～1月28日にかけて9会場で説明会を開催し、85名の方の御参加をいただきました。説明会でいただいた主な意見及び質疑は以下のとおりです。

意見及び質問	回答及び市の考え方
厚陽保育園の老朽化対策について なぜ築40年以上経過した厚陽保育園を継続させるのか。今後何十年も持たないのではないか。	再編計画は、全体の位置関係や地域ごとの定員等を考えて策定したものです。厚陽保育園の老朽化が激しいことは承知しており、必要に応じて大規模修繕等を行う必要があると考えています。修繕で対応できなくなったときは、その時点で建て替え等の検討を行います。
定員設定について もう少し余裕のある定員設定としてはどうか。	定員は、現時点で想定される今後15年後までの将来見込みに対応できる設定としています。建設費や維持管理費のこともあり、必要以上に大きな施設をつくることはできません。現在予想している状況と相違が生じた場合は、その時点で柔軟に対応していきます。
厚狭駅南部地区の浸水について 厚狭駅南部地区は、過去水害に遭っているが、今後その恐れはないか。屋上への避難ができるような建物の構造にしてはどうか。万が一の事態は「ないだろう」ではなくて、「ある」前提で検討してほしい。	過去の水害の後、厚狭川及び桜川の河川改修や大正川排水機場の早期完成も行われており、平成22年と同じ雨量では浸水しないよう対策が行われています。建物の配置や構造については、御意見を参考にして、今後検討を行っていきます。
跡地利用について 廃止する園の建物や跡地利用についてどう考えているか。	今後関係課と協議していきます。
給食について 再編後、給食はどうなるのか。	現在と同じく、自園調理による提供を行う予定としています。
保育士不足について 保育士不足の心配はないか。	再編後の保育士数は、現在とそれほど変わらないと予測しており、保育士不足は起こらないと考えています。
待機児童について 待機児童はどうなるか。再編により廃止となる園に通っていた児童はどうなるのか。	再編により、現時点で想定される待機児童が解消できると考えています。再編により廃止となる園に通っていた児童が、待機となることがないように、調整したいと考えています。
地域の活性化について 廃止される園と地域の交流がなくなり、地域の衰退につながるのではないか。	それぞれの保育園と地域の交流があることは承知していますが、公立保育所の再編は、適切な保育環境の整備のために取り組まなければならないことであり、御理解をいただきたいと考えています。
保育サービスの充実について 公立保育所の開所時間を延長してほしい。 0歳児の保育を充実してほしい。 日曜日・祝日の子どもの預け先をつくってほしい。	御意見を参考にして、今後検討していきます。 御意見を参考にして、今後検討していきます。 御意見を参考にして、今後検討していきます。現状では日曜日の保育は行っていないので、ファミリーサポートセンター等を利用していただきたいと思います。
その他 駐車場を多めに確保してほしい。 再編整備の進め方はどうなるのか。 卒園記念の作品はどうなるのか。 制服やカバン等は、再編によりどうなるのか。 認定こども園の整備予定はないか。 日の出保育園の建て替え候補地は鉄道が隣接しているので、騒音対策等に配慮してほしい。	今後設計を行う際に、御意見を参考にさせていただきます。 平成29年度は厚狭駅南部地区の保育所整備に取り掛かる予定です。 残せるものは残すなど、配慮に努めます。 なるべく経費面の負担が生じないように調整します。 現時点で整備予定はありません。 御意見を参考にして、今後設計を行っていきます。
厚狭地区への児童館の整備はどうなるのか。	現在、児童クラブの待機児童が発生しており、まずは児童クラブの拡充整備を進めているところです。一方で、児童クラブが児童館を占領している状況もあり、児童館機能の確保という意味からも状況の改善が必要と考えています。山陽地区への児童館の整備は、今後検討していきたいと考えています。
小野田南部には公立保育所がないのではないか。	市内には、12の民間保育所もあります。公立保育所が地域ごとに必要とは考えておらず、問題はないと考えています。
市内の保育を考えるに当たっては、事業所内保育所も考慮する必要があるのではないか。 公立保育所の耐震化計画はあるか。	御意見を参考にさせていただきます。 公立保育所はすべて平屋建てです。耐震整備の予定はありません。
公立保育所の整備によって、私立保育所の経営を圧迫することがないように配慮が必要である。	公立保育所が民間保育所を圧迫することがあってはならないと考えています。将来の保育需要が現時点の予想を下回った場合や、民間保育所の定員増加が実現した場合は、その都度公立保育所の定員を調整したいと考えています。
保育室や人員配置等、安全面について十分に配慮してほしい。	御意見を参考にして、現場の保育士の意見も取り入れるなどして検討していきます。

# 平成28年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (H28.11月分)

項 目		当 月	累 計 (A)	H28予算額等 (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	173.2人	172.9人	180.0人	96.0%
	外来1日平均	403.2人	403.9人	450.0人	89.8%
	入院患者数	5,197人	42,181人	65,700人	64.2%
	外来患者数	8,064人	65,843人	109,350人	60.2%
病 床 稼 働 率		80.6%	80.4%	83.7%	
平 均 在 院 日 数		14.4日	14.9日		
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	178,956千円	1,465,696千円	2,332,180千円	62.8%
	外 来	75,961千円	606,062千円	1,016,881千円	59.6%
	計 (A)	254,917千円	2,071,758千円	3,349,061千円	61.9%
医 業 費 用	職員給与費	132,922千円	1,106,422千円	2,099,963千円	52.7%
	材 料 費	57,032千円	493,739千円	790,370千円	62.5%
	経費ほか	49,030千円	406,489千円	645,672千円	63.0%
	減価償却費等	43,778千円	350,220千円	483,609千円	72.4%
	計 (B)	282,762千円	2,356,870千円	4,019,614千円	58.6%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	90.2%	87.9%	83.3%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

# 平成28年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (H28.12月分)

項 目		当 月	累 計 (A)	H28予算額等 (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	188.4人	174.6人	180.0人	97.0%
	外来1日平均	426.9人	406.3人	450.0人	90.3%
	入院患者数	5,840人	48,021人	65,700人	73.1%
	外来患者数	8,112人	73,955人	109,350人	67.6%
病 床 稼 働 率		87.6%	81.2%	83.7%	
平 均 在 院 日 数		16.4日	15.0日		
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	195,343千円	1,661,039千円	2,332,180千円	71.2%
	外 来	77,097千円	683,159千円	1,016,881千円	67.2%
	計 (A)	272,440千円	2,344,198千円	3,349,061千円	70.0%
医 業 費 用	職員給与費	325,161千円	1,431,583千円	2,099,963千円	68.2%
	材 料 費	74,890千円	568,629千円	790,370千円	71.9%
	経費ほか	49,403千円	455,892千円	645,672千円	70.6%
	減価償却費等	43,778千円	393,998千円	483,609千円	81.5%
	計 (B)	493,232千円	2,850,102千円	4,019,614千円	70.9%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	55.2%	82.2%	83.3%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

# 平成28年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (H29.1月分)

項 目		当 月	累 計 (A)	H28予算額等 (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	181.0人	175.3人	180.0人	97.4%
	外来1日平均	427.5人	408.3人	450.0人	90.7%
	入院患者数	5,610人	53,631人	65,700人	81.6%
	外来患者数	8,122人	82,077人	109,350人	75.1%
病 床 稼 働 率		84.2%	81.5%	83.7%	
平 均 在 院 日 数		16.8日	15.2日		
医 業 収 益 <small>(入院収益、外来収益のみ)</small>	入 院	201,350千円	1,862,389千円	2,332,180千円	79.9%
	外 来	77,557千円	760,716千円	1,016,881千円	74.8%
	計 (A)	278,907千円	2,623,105千円	3,349,061千円	78.3%
医 業 費 用	職員給与費	138,302千円	1,569,885千円	2,099,963千円	74.8%
	材 料 費	57,967千円	626,596千円	790,370千円	79.3%
	経費ほか	49,847千円	505,739千円	645,672千円	78.3%
	減価償却費等	43,778千円	437,775千円	483,609千円	90.5%
	計 (B)	289,894千円	3,139,995千円	4,019,614千円	78.1%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	96.2%	83.5%	83.3%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

平成28年度資金繰表

山陽小野田市病院事業会計

(単位：千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
収入	過年度未収金	256,386	275,087	13,065	9,812	301	143	232	137	154	203		555,520	
	医業収益	36,995	49,763	254,941	270,061	301,183	279,869	298,500	263,877	288,797	279,535		2,323,521	
	医業外収益	383	1,044	1,205	1,154	1,242	913	1,657	1,113	1,829	1,383		11,923	
	他会計繰入金	345,171											345,171	
	預り金	31,081	31,216	68,393	28,796	27,631	27,464	28,716	29,002	69,357	28,061		369,717	
	企業債													0
	寄附金								500					500
	その他	714	1,122	1,230	1,070	1,833	1,432	1,223	1,355	1,943	1,711			13,633
	前月繰越金	52,810	89,850	141,662	65,456	49,217	290,535	76,174	106,543	66,764	90,509	38,949	38,949	1,107,418
	特別利益										1,829			1,829
合計(A)	723,540	448,082	480,496	376,349	381,407	600,356	406,502	402,527	428,844	403,231	38,949	38,949	4,729,232	
支出	過年度未払金	146,310	9,202	2,212									157,724	
	人件費	168,265	130,015	304,634	153,663	133,586	151,597	130,830	132,922	325,162	138,302		1,768,976	
	物件費	10,001	136,835	118,421	126,188	117,436	114,596	123,311	118,472	114,428	147,967		1,127,655	
	建設改良費			674		5,659	3,364	13,619	5,690	7,160	3,027		39,193	
	支払利息			532			28,810			946			30,288	
	企業債償還金						189,938						189,938	
	長期借入金償還金													
	預り金	28,319	29,385	47,984	46,124	33,160	32,026	29,954	27,180	57,181	42,009			373,322
	その他	690	962	10,351	1,111	1,029	3,851	2,242	1,497	3,458	1,147			26,338
	特別損失	105	21	232	46	2		3	2		1,830			2,241
合計(B)	353,690	306,420	485,040	327,132	290,872	524,182	299,959	285,763	508,335	334,282	0	0	3,715,675	
差引(A-B)	369,850	141,662	▲ 4,544	49,217	90,535	76,174	106,543	116,764	▲ 79,491	68,949	38,949	38,949		
一時借入	借入額			70,000		200,000				170,000			440,000	
	返済額	280,000							50,000	30,000			360,000	
	合計(C)	▲ 280,000	0	70,000	0	200,000	0	0	▲ 50,000	170,000	▲ 30,000	0	80,000	
	一時借入金残高	0	0	70,000	70,000	270,000	270,000	270,000	220,000	390,000	360,000	360,000	360,000	
月末残高(A-B+C)	89,850	141,662	65,456	49,217	290,535	76,174	106,543	66,764	90,509	38,949	38,949	38,949		
月間収支(※)	317,040	51,812	▲ 146,206	▲ 16,239	41,318	▲ 214,361	30,369	10,221	▲ 146,255	▲ 21,560	0	0		

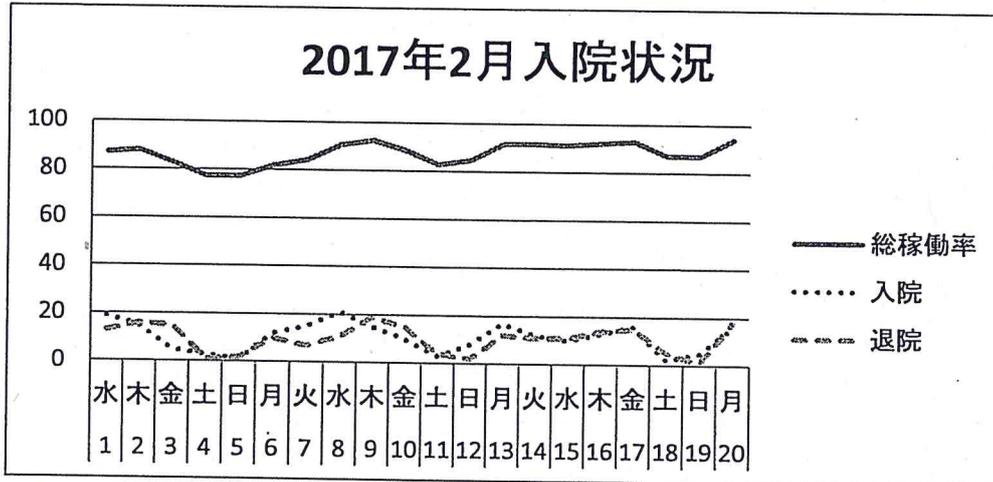
※ 月間収支とは、前月繰越金を除いた純粋な月内の収支をいい、「(A)-(B)-前月繰越金」で算出します。

山陽小野田市民病院経営会議概要 【平成28年12月・平成29年1・2月開催分】

開催状況	12月6日、12月20日、1月10日、1月24日、 2月7日、2月21日
出席者	病院事業管理者、顧問、院長、副院長、診療部長、 看護部長、医療技術部長、副看護部長、 腎・透析センター長、事務部長、参与、医事課長、 総務課長、市健康増進課長
主な協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営管理改善業務コンサルタントの導入について</li> <li>・病院機能評価について</li> <li>・在宅療養後方支援について</li> <li>・2次救急搬送受入れ体制について</li> <li>・各月の病床稼働率報告と傾向分析による協議</li> </ul>
その他報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者満足度調査結果について</li> <li>・ストレスチェック実施状況について</li> <li>・インフルエンザの流行状況について</li> </ul>

2017年2月入院状況

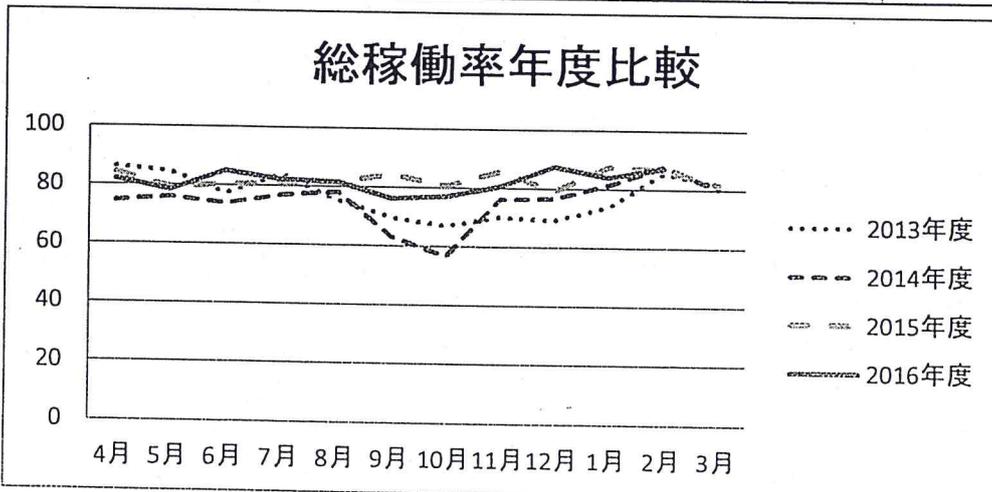
	2次					サ					2次					サ					平均
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	
総稼働率	87	87.9	82.8	77.2	77.2	81.9	84.2	90.7	92.6	88.4	82.8	84.7	91.6	91.6	91.2	92.1	93	87	87	94	87.2
入院	19	15	5	3	1	12	15	21	15	10	3	8	17	12	10	13	16	2	5	16	10.9
退院	13	16	15	1	2	10	7	11	19	15	4	2	12	11	11	14	15	5	1	18	10.1



1  
6  
1

総稼働率年度比較

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2013年度	86.3	84.6	77.5	83.8	75.4	69.6	67.2	70.1	69.3	73.8	85.6	81.8	77.1
2014年度	74.6	76.1	73.9	76.9	78.2	63.1	56.9	76.3	76.7	81.4	87.8	80.3	75.2
2015年度	84.4	79.2	80.3	80.9	81.8	84.4	80.7	85.8	79.2	87.6	86.9	81.7	82.7
2016年度	82.1	78.4	85	82.2	81.6	76.3	77.1	80.6	87.6	84.1	87.2		82.0

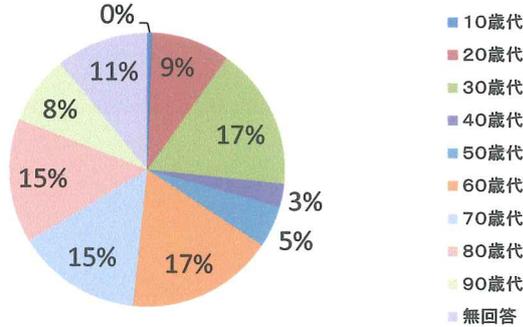


# 患者満足度調査集計結果

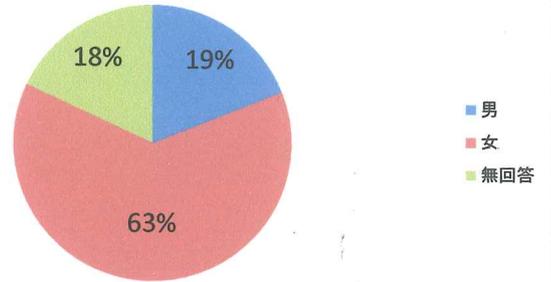
2017年2月

当院では、患者来院される患者の皆様に対し、より良い医療サービスを提供するために、入院患者様・外来通院中の患者様を対象に、1ヶ月間(H28年7月)アンケート調査を実施いたしました。292名(入院患者:184名、外来通院患者:108名)の方々から、回答ならびに貴重なご意見・ご要望をいただきました。結果を集約しましたので、ご報告いたします。

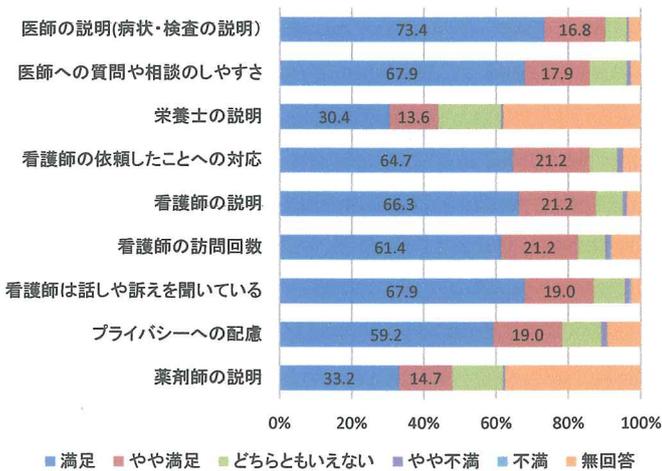
### 年齢別(入院)



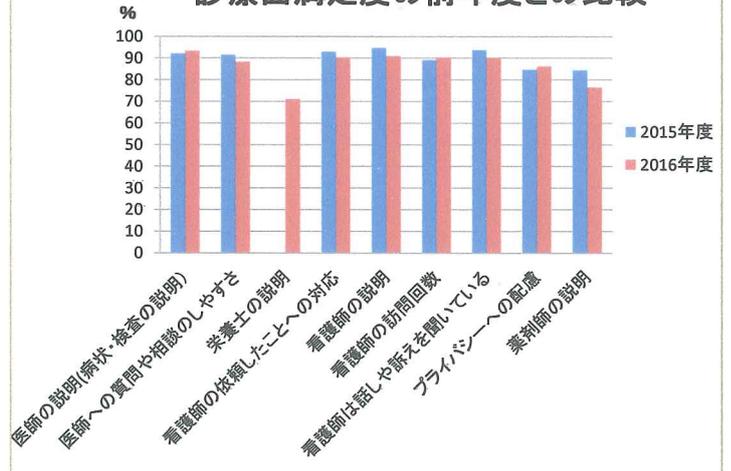
### 男女比(入院)



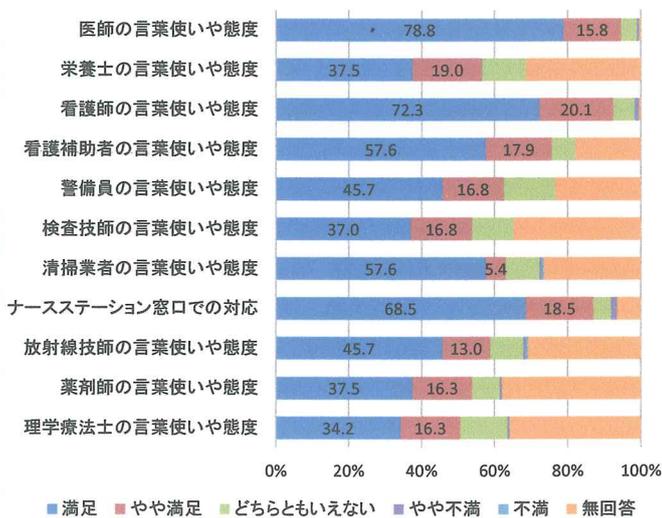
### 診療面(入院)



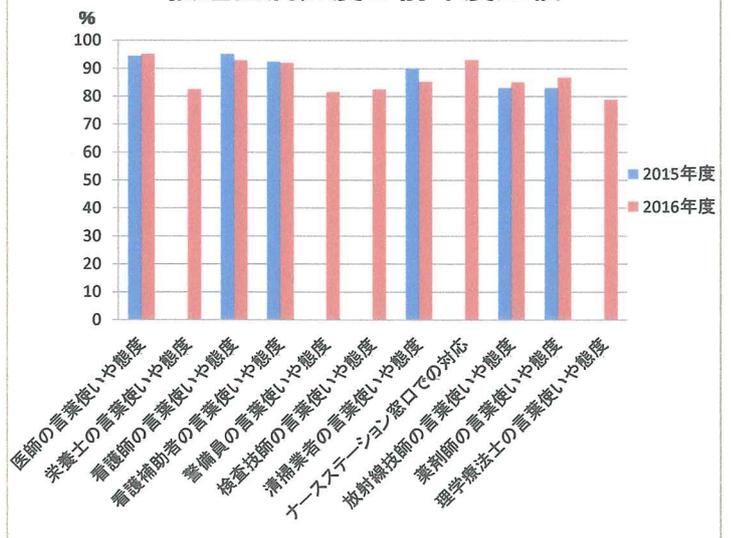
### 診療面満足度の前年度との比較



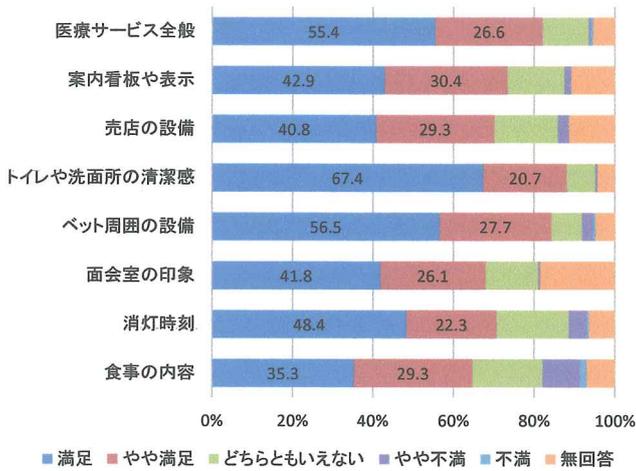
### 接遇面(入院)



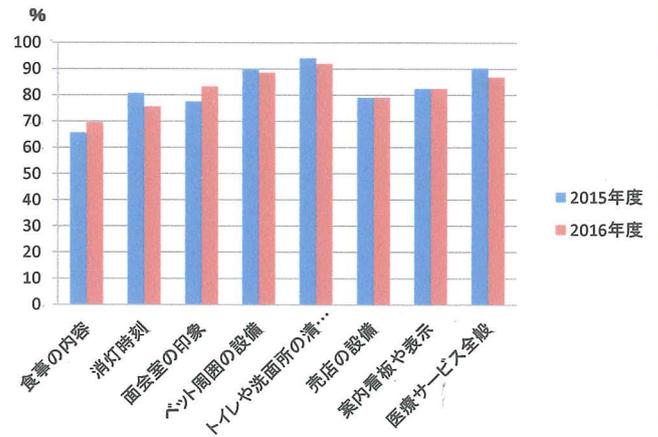
### 接遇面満足度の前年度比較



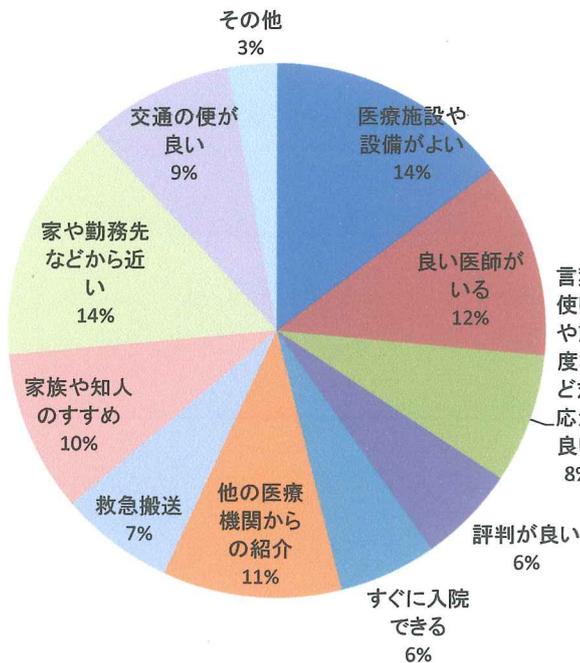
### 施設・環境面(入院)



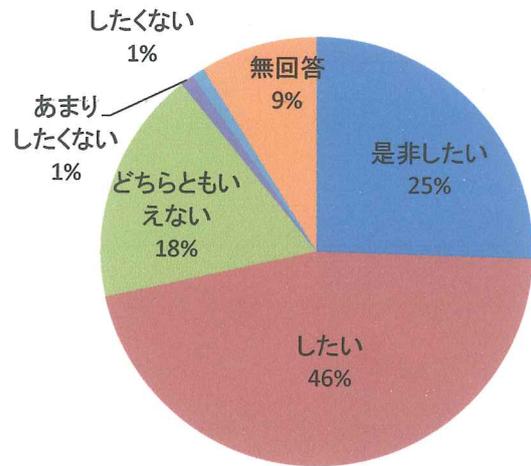
### 施設・環境面満足度の前年度比較



### 利用した理由(入院)



### 当院を紹介・推薦したいと思いますか(入院)



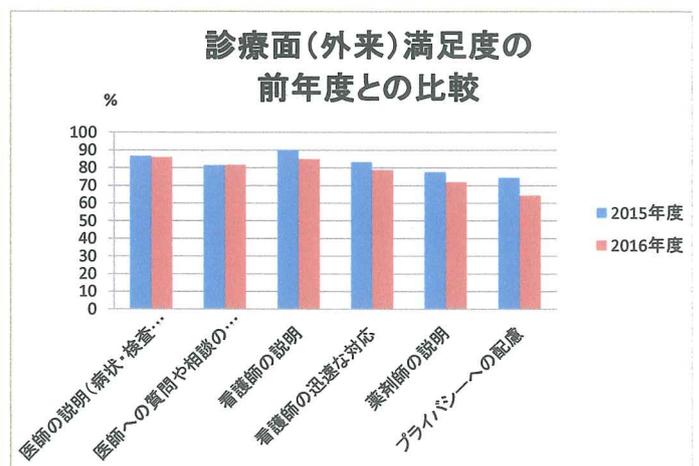
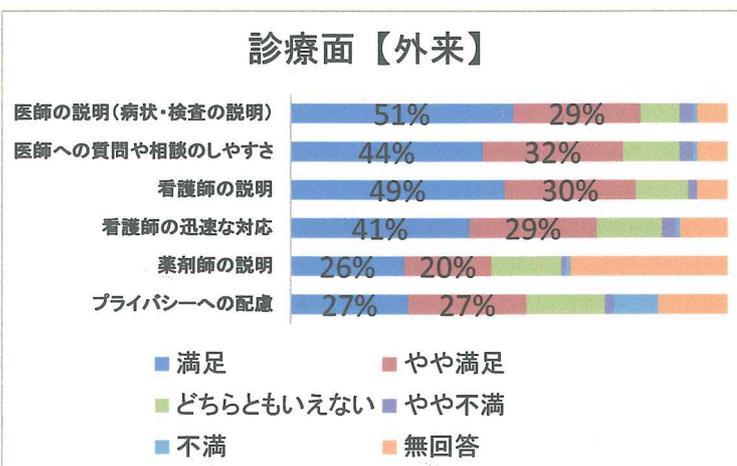
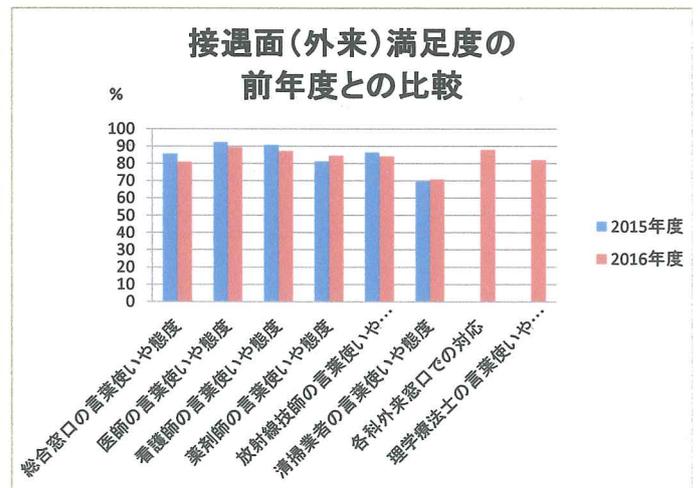
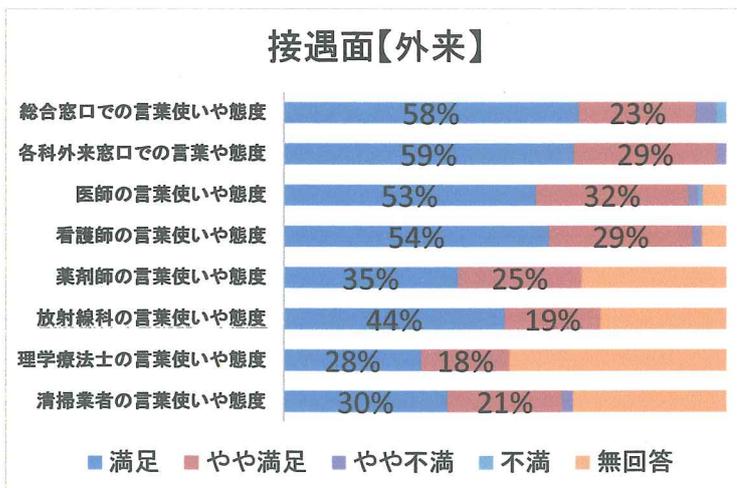
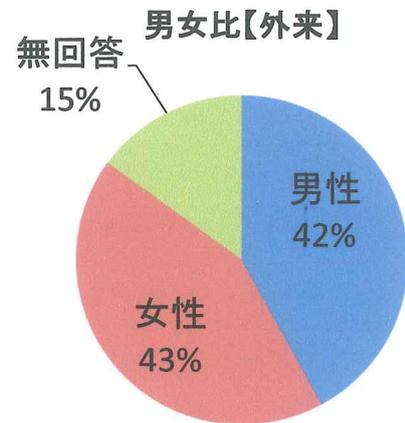
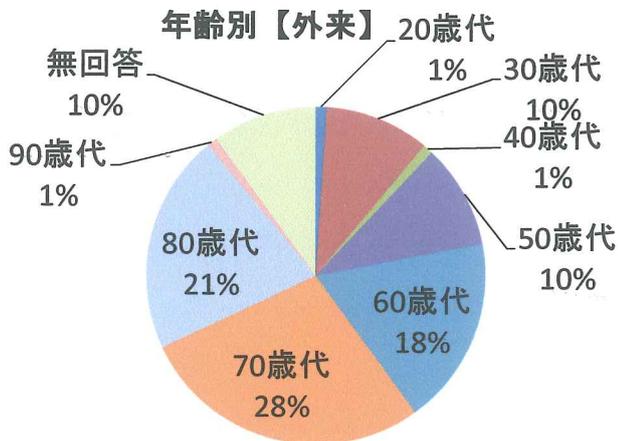
今回の調査結果を真摯に受け止め、今後もさらに努力をしていきたいと考えています。  
ご協力ありがとうございました。

看護部業務改善委員会

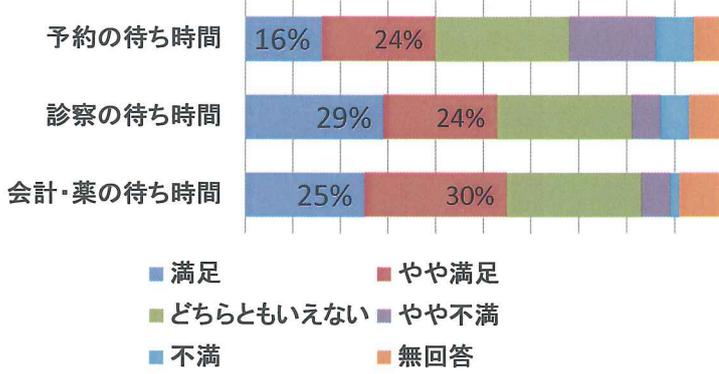
# 患者満足度調査アンケート集計結果

2017年 2月

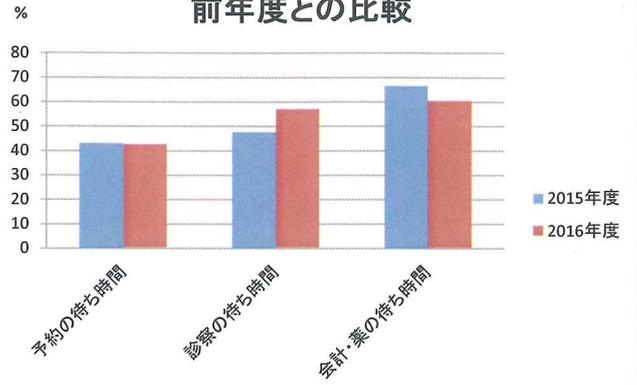
当院では、患者来院される患者の皆様に対し、より良い医療サービスを提供するために、入院患者様・外来通院中の患者様を対象に、1ヶ月間(H28年7月)アンケート調査を実施いたしました。292名(入院患者:184名、外来通院患者:108名)の方々から、回答ならびに貴重なご意見・ご要望をいただきました。結果を集約しましたので、ご報告いたします。



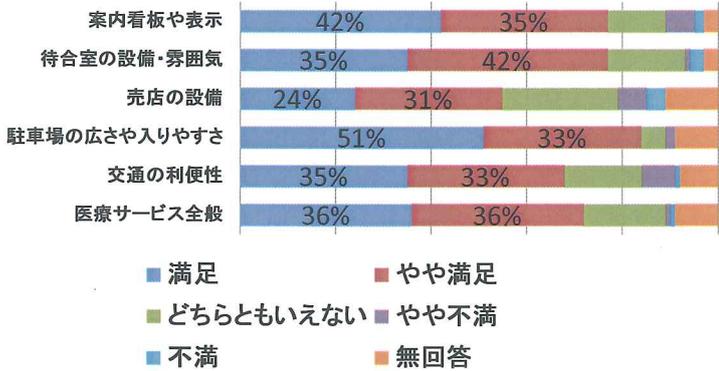
### 待ち時間【外来】



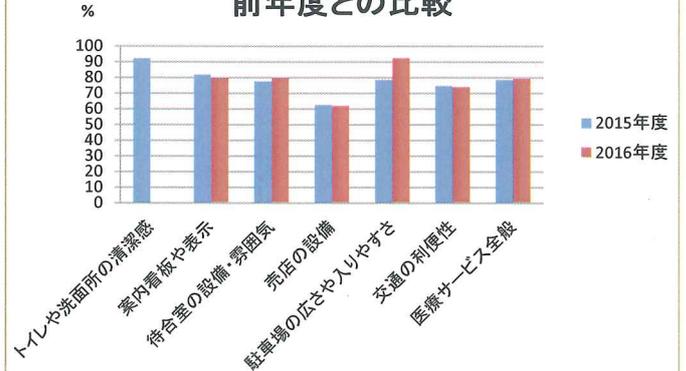
### 待ち時間(外来)満足度の前年度との比較



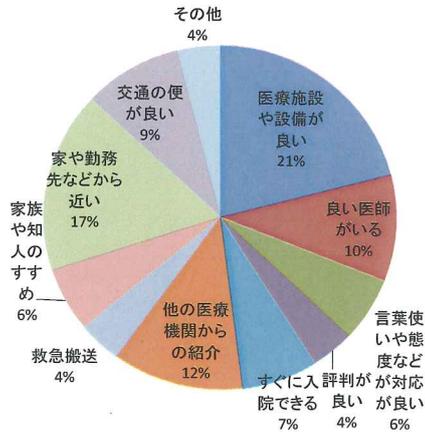
### 施設・環境面【外来】



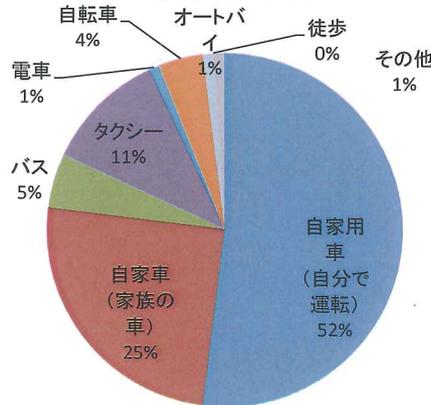
### 施設・環境面(外来)満足度の前年度との比較



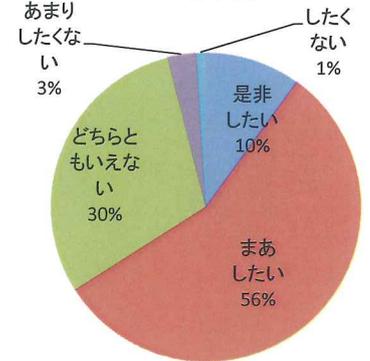
### 利用した理由【外来】



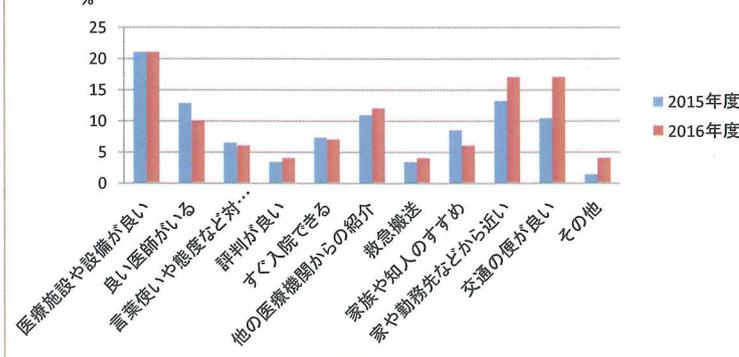
### 交通手段【外来】



### 当院を紹介や推薦したいと思いますか【外来】



### 受診理由(外来)前年度との比較



この結果を真摯に受け止め、さらに努力をしていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。

看護部業務改善委員会